



ROCK PAINT

092ライン

エパーロック

アクリル樹脂系非水分散形塗料

あらゆる建築物の塗装に

ホルムアルデヒド放散等級

F☆☆☆☆

居室内で無制限に使用できます。

国土交通大臣認定

認定番号	区分
------	----

NM-8585	不燃材料
---------	------

QM-9816	準不燃材料
---------	-------

RM-9364	難燃材料
---------	------

塗料塗装

(一社)日本塗料工業会

ロックペイント株式会社

あらゆる建物の塗替えに!

092ライン **エバーロック** アクリル樹脂系非水分散形塗料

エバーロックは、ターペン可溶NAD型アクリル樹脂をベースにした、建築物屋内外用ペイントです。耐水性が良く、エマルジョン塗料のような作業性、仕上がり性を兼ね備えています。また旧塗膜を侵さず、ヤニ・シミ止め効果、においが残らないなど、特に施工時及び乾燥後、快適に利用できるよう配慮した各種塗り替え用として適した塗料です。

特 長

1. すぐれた付着性・浸透性

カチオン型樹脂を使用していますので、付着性・浸透性がすぐれています。また旧塗膜やチョーキング面でもシーラーなしで直接塗装できます。

2. 強力なヤニ・シミ止め効果

タバコのヤニや水性のシミを抑える効果が強力です。

3. ターペン希釈タイプ、マイルドな匂い

塗料用シンナーで希釈できるため、旧塗膜の上でもちぢみにくく、また匂いもマイルドで油臭が残らないため、室内の塗装に適しています。

4. 作業性・乾燥性

水性塗料に比べ造膜性がすぐれていますので、冬季低温時でも塗装しやすく、乾燥性にもすぐれています。

5. 防藻・防カビ性

防藻・防カビ剤の配合により、湿度の高い所でもカビや藻類の発生を抑え、長期間にわたり清潔な住環境を維持します。



用 途

戸建住宅、集合住宅など屋内外部壁面、軒天の塗装、各種塗り替え用塗装

適応素地

コンクリート、モルタル、PC板、ブロック、スレート板、せっこうボード、屋内木部など

適応旧塗膜

SOP、EP、VE、FE、吹付タイル、リシン、スタッコなど

種類と容量

●エバーロック(ツヤ消し・2000番級)

品番	色名	容量
092-2206	ホワイト	16kg
092-2023	ムエンキュートエロー	4kg
092-2080	ロイヤルブルー	4kg
092-2210	レッド	4kg
092-2225	オキサイドレッド	4kg
092-2233	オーカー	4kg
092-2234	ブラック	4kg

こんな場合に適しています

付着性が心配

コンクリート・モルタルなどセメント系素地に直接塗装できます。^{※1}
浸透性にすぐれていますので、シーラーなしで直接塗ることができます。

タバコのヤニ、シミ、 アクがとまらない

一般の水性塗料では、タバコのヤニや水性のシミを抑えることはできませんが、エバーロックは専用のシーラーを使用することなく強力です。

旧塗膜がわからない

溶解力の弱いターペンを使用していますので、旧塗膜がわからない所もちぢみにくなっています。

室内で塗ると においがきつい

油性塗料のように油臭が残らず、塗装時も溶剤型アクリル塗料に比べてにおいがマイルドです。

カビがはえやすい

防カビ剤入り^{※2}のため、湿度の高い所やカビ、藻類の発生しやすい所ですぐれた効果を発揮します。

冬場でも塗装したい

水性塗料やエマルジョン塗料の場合、低温では凍結したり造膜不良を起こしますが、エバーロックは低温時でも塗装しやすく、乾燥性もすぐれています。

※1 素地の吸い込みが著しい場合は、適性のあるシーラーが必要になります。

※2 防カビ性については、カビの繁殖を抑えるためのもので、すでにカビが発生している所では、あらかじめカビの除去及び殺菌処理を行ってください。

標準塗装仕様 〔新設・塗替え〕

素材：コンクリート、モルタル、PC板
ブロック、スレート板、せっこうボード、屋内木部、
など

塗替え旧塗膜：SOP、EP、VE、FE、
吹付タイル、リシン、スタッコなど

工程	使用塗料	希釈剤	塗装方法及び 希釈率(%)	塗装 回数	標準塗付量 (kg/m ² ・回)	塗り重ね可能 時間(20℃)
下塗	092-2000番級 エバーロック	塗料用シンナー	ハケ・ローラー：5～15 エアレス：10～20	1	0.11～0.13	2時間以上
上塗	092-2000番級 エバーロック	塗料用シンナー	ハケ・ローラー：5～15 エアレス：10～20	1	0.11～0.13	2時間以上

※仕様の数値は標準的な塗装を行う際のもので、標準塗付量は塗装時のロスを考慮に入れた数値です。素地の状態、塗装条件などによって異なる場合があります。

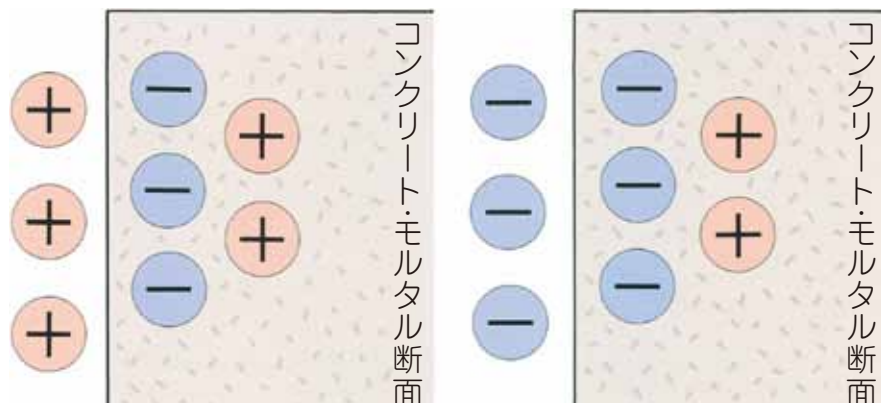
- 新設のコンクリート、モルタル面などの素地調整については、エフロレッセンス、レイタンス、ゴミ、汚れなど付着物を完全に除去し、乾いた清浄な面にしてください。(含水率10%以下、pH9.5以下)
- 塗り替えのコンクリート、モルタル面などの下地調整について、旧塗膜ではがれ部分、フクレ部分などは、皮スキ、ワイヤーブラシなどのケレン具を用いて完全に除去してください。また、エフロレッセンス、チョーキング部分汚れなどは高圧洗浄などで除去し、乾燥した清浄面としてください。
- 屋内木部の素地調整では、オービタルサンダーでP180～P240ペーパーを用い、汚れ、付着物、ケバだちを除去して平滑な面にしてください。木のヤニは削り取るか又は焼きゴテで処理し、揮発油で拭き取ってください。節およびその周辺はセラックニスで節止めを行い、穴埋めの必要な場合は、ロックポリパテで穴埋めを行ってください。

カチオン型樹脂

エバーロック

一般塗料

エバーロックの樹脂中の⊕電気が素地の⊖電気と引き合うため強力な付着力を示します。

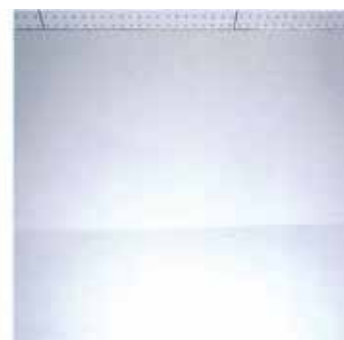


ヤニ、シミ止め効果

エバーロックは塗料用シンナーで希釈する塗料です。水性の「ヤニ」、「シミ」はシーラーを使用しなくてもとめることができます。



▶ 塗装前



▶ 塗装後1ヶ月

他種塗料との性能比較

エバーロック(ツヤ消し)と他のツヤ消し塗料との比較

※評価：◎優秀 ○良好 △やや不良 ×不良

		エバーロック	アクリルエマルジョン	塩化ビニル樹脂塗料 (ツヤ消し)
塗膜性能	耐久性、耐水性	◎	○	◎
	付着力	◎	△	◎
	防カビ性	○	△	○
	ヤニ、シミ止め	◎	×	○
	汚染性	○	×	○
作業性	ハケ、ローラーさばき	○	◎	△
	ツヤむら、色むら	○	◎	△
	低温造膜性	◎	×	◎
	溶剤臭	△	◎	×
	乾燥性	○	△	◎
旧塗膜のチヂミ		◎	◎	△

■施工上の注意事項

- 塗料は使用前に缶の底から十分にかき混ぜ、均一にしてください。
- 塗る面のゴミ、カビ、こけ、油分、枯れ葉などの汚れや、はがれかかった塗膜はよく取り除いてください。
- 新しいコンクリート、モルタルなどのアルカリ質素材は、含水率10%以下、pH9.5以下になるまで十分に乾燥させてください。
- 気温が低いときや、湿度が高い場合には、完全な塗膜ができにくく十分な性能を発揮できませんので、気温及び躯体の温度が5℃以下の場合や、湿度85%以上での塗装は避けてください。
(風通しが悪い場合や湿度が高い場合は、気温が高くても乾燥時間が通常よりかかることがあります。)
- 降雨、降雪、強風などの場合、または天候不良が予測される場合は外部の塗装は避けてください。
- エバーロックの調色は専用の原色またはロックトーンカララント3000(ベースの5%以内)を使用し、希釈には塗料用シンナーを使用してください。また必要以上に希釈すると、光沢、隠ぺい性が低下したり、たれや色分かれの原因になります。
- 各工程の塗装間隔や塗付量、希釈量を守らなかった場合塗膜不良となる事があります。(例えば、一度に所定量以上塗装すると硬化・乾燥不良を起こし、塗膜に割れ、ふくれ、ちぢみが発生する場合があります。また、塗付量が少ない場合や、希釈しすぎた場合、膜厚不足により塗膜不良となる事があります。)
- たえず結露が発生するような場所、用途での使用は避けてください。
- 防カビ効果は繁殖を抑制するため、既に発生している被塗面には、下地処理として除去およびO51ライン 防藻・防カビ処理剤などで殺菌処理した後、塗装してください。
- 塗装用品の洗浄にはラッカーシンナーを使用してください。
- 下地の種類、状態によっては、下塗りや表面荒らしが必要な場合があります。
- 屋外木部への塗装は避けてください。剥離やクラックが発生する場合があります。
- 改修塗装の場合、素地の種類や、下地処理方法によって、塗膜不良となることがあります。あらかじめ適切な処理を行い、試し塗りをすることをおすすめします。
- 旧塗膜が弾性系の塗膜(弾性リシン、弾性スタッコ)やアクリル樹脂エナメルなどの場合、すでにふくれが発生していることがあります。そのまま塗装するとふくれが拡大することがありますので、ふくれ箇所は完全に除去してください。
- 蓄熱されやすい建材(軽量モルタル、ALC、窯業系サイディング、その他断熱性が付与された建材など)を使用した高断熱型住居の外装を塗装する場合、状況により蓄熱、水分、素地、下地の状態、塗装環境など複数の条件が重なることで、素地の変形、塗膜のふくれ、はがれなどが発生する場合があります。詳しくは最寄りの営業所にお問い合わせください。
- シーリング材の上に塗装する場合、シーリング材の種類、劣化度により付着不良を起こしたり、表面が汚れてくる事があります。状況によっては、シーリング材用プライマー「ロックノンタックプライマーS」を塗装してください。塗膜の汚染・剥離・はがれ・割れの低減が図れますが、シーリング材の種類によっては汚れ、付着不良が発生する場合がありますので試し塗りをすることをおすすめします。なお、ノンブリードタイプのシーリング材に「ロックノンタックプライマーS」は塗装しないでください。
- ドアパッキン、緩衝材など可塑剤を含むプラスチック製品に塗膜が接触したり、直接塗装を行ったりすると軟化することがありますので、塗装は避けてください。
- カウンターやテーブル、椅子、棚、床等への塗装は避けてください。
- 吸い込みの少ない素材やつや有り旧塗膜の塗り替えは、クラックが発生する恐れがありますので、塗装は避けてください。
- エマルジョンパテの外部や浴室での使用は避けてください。
- 木部塗装で釘頭には、合成樹脂系サビ止メ塗料を塗装してください。釘頭が錆びている場合は、ペーパーを用いてさびを除去(二種ケレン)してから合成樹脂系サビ止メ塗料を塗装してください。
- スプレーノズルの先端は作業効率の低下および塗りムラを防止するため、定期的に洗浄してください。
- 同じ塗装面で一部アクセントカラー等異なる色彩を塗り重ねる場合、塗り重ね部分がブリードにより変色することがありますのでご注意ください。
- 内部の塗り替えで旧塗膜が合成樹脂調合ペイントやフタル酸樹脂エナメルなどの油性系の場合、あらかじめペーパーがけを行ってください。下地処理が不十分な場合、塗膜剥離になることがあります。
- ヤニの付着が著しい場合、ウエスなどで水拭きしヤニを除去してください。被塗物を十分に乾燥後エバーロックを塗装し、1回目の塗装後は十分に乾燥(20℃、6時間以上)してください。その後2回目の塗装で仕上げますと、ヤニのにじみは低減できます。
- 仕様書の数値は標準的な塗装を行う際のもので、標準塗付量は塗装時のロスを考慮に入れた数値です。素地の状況、塗装条件などによって異なる場合があります。
- 塗装方法により多少色相が異なることがありますので、入り隅のハケ、ローラー境目はできるだけ奥までローラー塗装してください。
- 飛散防止のため必ず養生を行ってください。
- 補修部分が目立つことがありますので、補修塗りの場合は同一ロットの塗料を使用し、同一の塗装方法、希釈割合で行ってください。
- 塗色が濃色の場合、塗膜を強くこすると色落ちすることがありますので注意してください。
- 笠木、天端など長時間水が滞留する箇所では塗膜の白化、ふくれなどが発生する場合がありますので、養生シートの設置方法などに配慮し、換気を促してください。
- 屋外セメント系素地に段差や素穴などがある場合は、セメントフィラーを用いて不陸調整を行ってください。また吸い込みの多い面などを塗る場合は、ロックカチオンシーラーマルチⅢか、ユメロックシーラーを使用してあらかじめ下塗りをおいてください。また塗装は「ぬれ感が出るまで」を目安に塗装を行ってください。
- シーラーを塗装する場合、塗装後シーラーの塗り重ね可能時間よりも早く上塗り塗装を行うと、ちぢみ、ひび割れ、塗膜不良を起こすおそれがありますので、シーラーの塗り重ね時間を守ってください。
- シーラーを塗装した場合、シーラー乾燥後素地との付着性をガムテープなどで確認し、はがれが認められる場合は再度シーラー塗装を実施してください。
- 塗装作業中および塗膜を乾燥させる際には、十分に換気を行ってください。
- 外部の塗装について、塗料臭気が室内に入らないように、換気装置などを停止し、開口部などの養生を行ってください。
- この仕様書はすべての工程においてホルムアルデヒド放散等級F☆☆☆☆を使用しています。F☆☆☆☆以外の材料(被塗物、素材を含む)を使用したり、各工程の塗装間隔や塗付量、希釈量を守らなかった場合F☆☆☆☆仕様でなくなることがありますので注意してください。
- 上塗りに鮮やかなエロー系、レッド系、ブルー系、グリーン系の塗色で仕上げる場合、塗膜の隠蔽性が弱い傾向にあるため、先に隠蔽性のよい共色(近似色)で下塗り塗装した後、上塗り塗装してください。
- このカタログに記載されている下塗塗料などの詳細な使用方法については、各々のカタログをご参照ください。
- ◆引火性の危険物のため、取り扱いの際には製品容器の注意書および安全データシート(SDS)をよく読み、注意事項を厳守してください。

安全衛生上及び取扱上の注意

〔製品の危険・有害性〕

- 引火性の液体である。
- 溶剤蒸気を吸入すると有機溶剤中毒になる恐れがある。
- 目、皮膚、粘膜等に対し刺激性がある。

〔救急処置〕

- 目に入った場合は直ちに多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合は、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 蒸気・ガスなどを吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けてください。
- 皮膚に付着した場合には、多量の石鹸水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化のあるときは医師の診察を受けてください。

〔取扱注意事項〕

- 取扱は引火源のないところで行い、特に静電気が発生するような衣服、取扱は避けてください。
- 取扱作業所には、局所排気装置を設け、塗装時及び乾燥時には十分換気を行ってください。
- 溶剤蒸気やスプレーダストを吸引しないように、必要に応じて有機ガス用防毒マスクまたは送気マスクなどの適切な保護具を着用してください。
- できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて保護めがね、保護手袋(耐溶剤性)、長袖作業着等を着用してください。
- 取扱後は手洗い及びうがいを十分に行い、作業着等に付着した汚れをよく落としてください。
- よくふたをし直射日光を避け、5℃以上40℃以下の安全でかつ子どもの手の届かない一定の場所に保管してください。
- 容器は中身を使い切ってから廃棄してください。
- 指定された以外の製品と混合しないでください。
- 廃棄の際は関係法規に従って産業廃棄物処理業者に委託し処理してください。
- 火災時には炭酸ガス、泡または粉末消火器を用いてください。

〔施工後の安全性について〕

- 本製品は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引渡しの際は、施主に対して安全性に十分に注意を払うようご指導ください。
- 不特定多数の方が利用する施設を施工した場合は、ペンキ塗リたてであるなどの立看板等を設置し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接する事のないようにご配慮願います。
- 安全データシート(SDS)をよく読んで取り扱ってください。



ロックペイント株式会社

東京営業部 / 〒136-0076 / 東京都江東区南砂2丁目37番2号 ☎(03)3640-6000 FAX (03)3640-9000
大阪営業部 / 〒555-0033 / 大阪市西淀川区姫島3丁目1番47号 ☎(06)6473-1055 FAX (06)6473-1000
札幌営業所 / 〒003-0011 / 札幌市白石区中央一条4丁目3番48号 ☎(011)812-2761 FAX (011)812-9304
仙台営業所 / 〒983-0044 / 仙台市宮城野区宮千代2丁目3番11号渡正ビル201号室 ☎(022)349-8677 FAX (022)283-3255
西関東営業所 / 〒252-0131 / 神奈川県相模原市緑区西橋本1丁目15番16号 ☎(042)700-3111 FAX (042)700-3112
名古屋営業所 / 〒454-0059 / 名古屋市中川区福川町1丁目1番地 ☎(052)351-6500 FAX (052)361-7433
岡山営業所 / 〒701-1134 / 岡山市北区三和1000番34 ☎(086)294-1201 FAX (086)294-6966
福岡営業所 / 〒811-0119 / 福岡県糟屋郡新宮町緑ヶ浜3丁目2番1号 ☎(092)962-0661 FAX (092)963-1241

ロックペイントのインターネットホームページ <http://www.rockpaint.co.jp>

- 本カタログの内容については、予告なしに変更する場合がありますのであらかじめご了承ください。
また記載内容について、法律で認められる範囲を超えての転載・複製を禁止します。

販売店：